

第2回 ごみ減量市民会議 会議録	
開催日時	令和2年11月26日（木）14：00～16：00
開催場所	湖西市環境センター 2階 大会議室
出席者	平井委員、寺内委員、疋田委員、前田委員、安間委員、後藤委員 藤井委員、松浦委員、岡本委員、鳥居委員 （順不同）
事務局	川上環境部長、山本廃棄物対策課長、木下課長代理、藤田、井口 三浦、橋本、松本
傍聴者	なし
会議概要	1 開会 2 前回の議事録の確認 3 質問回答 4 委員長あいさつ 5 議事 （1）ごみの排出方法と見直しの概要について （2）ごみ・資源物の排出日について （3）ごみ・資源物の排出場所について （4）指定ごみ袋について 6 その他 （1）第3回会議の開催日について （2）事務局からの連絡事項 7 閉会
記録の方法	発言者の要点記録

1. 開会

2. 前回の議事録の確認

廃棄物対策課長 委員の皆様は事前にお送りしていた第1回会議の議事録（案）については、修正の申し出はありませんでしたので、このままウェブサイト公開いたします。

3. 質問回答

廃棄物対策課長 前回の会議後に寄せられた質問はありませんでした。分かりにくかったことなどでも構いませんので、今後も遠慮なくお申し出ください。

4. 委員長あいさつ

委員長 本日はお忙しい中、また、コロナで大変な状況の中ご参加いただき、委員長を預かっている立場として厚くお礼申し上げます。

私が出席する国の委員会や環境省の会議の中でよく取り上げられることですが、マイクロプラスチック問題や食品ロス問題などいろいろとある中で、今日の環境問題の課題として大きな3つの柱があげられています。

1つ目は低炭素型社会の構築。言うまでもなく温暖化対策です。

2つ目は循環型社会の構築。今日のテーマでもあるごみ減量、3Rをどのように進めていくのかということです。

そして3つ目は自然共生型社会の構築。言い換えると生物多様性の確保。この3つが大きな課題だといわれています。

その中で、ごみ焼却施設の再稼働に向けて、湖西市のごみの分別、収集、処理のあり方を考えていく重要な会議になります。委員の皆様には貴重なご意見を承りたいと思いますのでよろしくお願いします。

5. 議事

(1) ごみの排出方法と見直しの概要について

委員長 議事（1）について事務局から説明をお願いします。

事務局 《資料2-① p1～2 に基づき説明》

委員長 事務局の基本方針についての質疑は後で受け付けることとして、続けて見直しの具体的な説明を事務局から説明をお願いします。

(2) ごみ・資源物の排出日について

事務局	《資料 2-② p3～5 に基づき説明》
委員長	ごみ・資源物の排出日について、市の方針では p4 の案で進めたいとのことでしたが、委員の皆様から意見ををお願いします。
委員	p5 の資料について、収集回数欄が「なし」になっているが、どういう意味か？
事務局	不燃ごみの回収回数が「なし」となっているところは、「埋めるごみ」や「こわすごみ」などという分別区分を設けており、不燃ごみという分別区分がない市町です。決まった頻度で収集していない、あるいは設置したカゴが満たされたら収集するなどのシステムは「不定期」という回答になっています。
委員	近所の人の目が届かないごみステーションは、分別マナーが悪くなる心配がある。他の市町から聞いた中で、何か対策等があれば教えてほしい。 自分が住む付近のアパートは人の出入りが多く、ごみ分別のマナーも悪い。注意してやっとな守ってもらえるという状況である。また、通り沿いのごみステーションに、他地域から車で来て捨てる人も見かけるので、ごみステーションの環境をよくできないものかと普段から感じている。
事務局	実例の話が出ているので私どもからも事例を紹介いたします。湖西地区の資源物回収拠点で使用している大型コンテナですが、この中にひどいものでチャイルドシートや 40 インチの大型テレビ、使用済みの紙おむつが捨てられていたことがありました。大型コンテナの中身が見えないことで違反ごみを入れられることが多いと思われます。
委員	地域でごみ出しの際に立ち当番をしている。通勤時間帯にごみステーションの状況を見ると、立ち当番の効果が出たためか他地域からごみを出しに来る違反者が減少したように感じる。
委員	ごみの収集日について、現在の新居地区では可燃ごみの日が月曜日と金曜日になっているが、見直し後は月曜日と木曜日になるのか。
事務局	資料 P5 右下の図はあくまで見直しのイメージであり、この図のとおりに変更するということではありません。また、市内全域で収集日を統一するという考えもありません。
委員	収集日が変わらない方が混乱しにくいので、考慮してほしい。
委員長	この見直し案によると、変更による影響は湖西地区の方が大きいと感じますが、湖西地区にお住まいの方からは何か意見はありますか。

- 委員 近所に大型コンテナが設置されているが、夜中に捨てる人もいて、夜間にコンテナの蓋の開閉音が響く。大型コンテナにはキャスターがついているので、台風の際は動きまわってフェンスに激突する場面を見たことがある。大型コンテナの撤去は近隣住民にとって安心材料になる。
- ただ、回収頻度を変更するのならば、ごみステーションが溢れないような想定はできているのか？ごみステーションへの排出量が増える年末年始などはどうか。
- 事務局 見直し案でのごみの収集頻度は、現在の新居地区での収集頻度と同じです。確かに年末年始などの連休で収集日が空くとごみが溢れてしまう箇所があることは承知していますが、日常的にごみが溢れているという声は聞かれないので収集頻度の設定には問題は無いと考えています。
- 委員 ごみ・資源物の排出日を定めることについて、仕事や旅行などで都合がつかず当日の朝に出せないときもある。そのような場合は前日に出しておいても問題ないか。
- 事務局 前日出しによる鳥獣被害を避けるためにも、決められた日の朝に出すということを守っていただくようお願いします。
- 委員 ごみステーションの形態について、防鳥ネットを置いてあるだけのごみステーションと立派なカゴを設置しているごみステーションがあるが、カゴに統一してくれるのか。
- 事務局 ごみステーションの形態を市内で統一したいという考えはありません。ごみステーションの設置スペースなどの事情は地域により異なるので、地域に合った形態を選んでいきます。
- 委員 ごみステーションの形態について、湖西地区の梅田でカゴが撤去され防鳥ネットだけになったごみステーションがあるが、何か事情はあるのか？
- 事務局 委員が仰るごみステーションは、幹線道路沿いにあり、以前は大型のカゴを置いていたごみステーションでした。この場所では、通勤途中の方がごみを出したり、収集日を守らないごみ出しが続いていました。地元自治会と相談したところ、大型のカゴが置いてあることで違反ごみが出しやすくなっているのではないかとということで、試験的にカゴを撤去し防鳥ネットのみを設置しました。その後、違反ごみは少なくなっているという話を聞いていますので、このまま様子を見ていきます。
- 委員長 ごみの排出日について、何か意見はありますか？

委員 新居地区のペットボトルの収集日は週に1回しかないので、どうしても皆がまとめて出すことになる。しかし、設置されている網袋の数が少なく、夜のうちに出す人もいたので翌朝には網袋がいっぱいになり入らないことがある。網袋の設置数を増やして欲しい。

事務局 設置場所のスペースの都合で設置数に制限がありますが、要望があれば設置数を調整していきます。

委員 網袋について、以前、高齢者の間で話を聞いたところ網袋では出しにくいとのことだった。網袋の投入口のひもが高齢者には長すぎて網袋の投入口を開けづらいようだ。

事務局 より使いやすい網袋とするため、仕様の見直しを検討していきます。また、網袋による収集もこの機に見直したいと考えています。

委員長 この市民会議は、ここで出た議題が実現するというだけでなく、意見聴取の場です。これまでの事務局の説明はあくまで、市内の収集体制の統一を目指していきたいということでした。

続いて（3）のごみ・資源物の排出場所について説明をお願いします。

（3）ごみ・資源物の排出場所について

事務局 《資料2-③ p6～9 に基づき説明》

委員長 見直し案のⅠ、Ⅱ、Ⅲのうち、事務局としてはこれがいい、というものはありますか。

事務局 Ⅰについてはポリ袋の用意が必要であること、Ⅲだと資源物を出すことができる場所が現状と変わらないことから、折衷案的なⅡが現実的かつごみ出しの利便性も高まると考えています。

委員長 このことを踏まえ皆様の意見をお願いします。

委員 現在、湖西地区の資源物回収拠点に置いてある大型コンテナは撤去することだが、代わりの資源物回収用コンテナを業者が配置してくれるということか。また、現在の資源物回収拠点の数よりも、資源物を出せる場所を増やすということか。

事務局 大型コンテナの常設を止め、収集日の前に資源物回収用の小型コンテナを配置する方式を想定しています。小型コンテナを配置できるごみステーションでは、ごみと資源物の両方を出せるようにしたいと考えています。

- 委員 収集業者の負担が増加するが、コストがどれくらい増加するのか。トータルコストが上がるなら元も子もない。
- 事務局 収集業者への負担とコストが上がることは想定されます。
- 浜松市では地域の方に回収用コンテナの配置を協力してもらい、コンテナ配置のコストを抑えています。市民の方にできるだけ負担をかけない方法を検討していますが、近隣市ではそのような方法を取っているところもあります。
- 事務局 あくまで1つの案です。現在新居地区では収集業者が前日に小型コンテナを配置しています。費用面を踏まえて検討していきたいと考えています。
- 委員 II案について、高齢者が資源物を回収しているごみステーションまで出しに行くのが大変なので、便利かつ出しやすい方法を検討してもらいたい。
- 事務局 II案は、可燃、不燃ごみを出せる場所は現状と変えず、資源物をできる限り近くのごみステーションを利用して出せるようにしたいという案です。
- 委員長 他の意見はよろしいですか。事務局の意向をご理解いただいたということで、続いて（4）指定ごみ袋について説明をお願いします。
- （4）指定ごみ袋について
- 事務局 《資料2-④ p10～12 に基づき説明》
- 委員長 指定ごみ袋について、今日の段階で何かご意見があればお願いします。
- 委員 45Lサイズを導入してもらえれば便利だが、剪定枝を入れるなら現状のごみ袋では破れやすいのでごみ袋の強度を上げてほしい。
- 事務局 他市町の例では、磐田市では厚手の袋を用意しているので、仕様等を研究していきます。
- 委員 ごみ袋の種類が増えると販売予測が立てづらいとのことだが、ごみ袋の20Lと30Lの販売数の比率はどのようなものか？
- 事務局 今、手元に正確な数字の資料はありませんが、感覚的には大小比で8:2程度です。20Lの袋はあまり使われていないようです。
- 委員 ごみ袋の見直し案について、小さい袋をやめて製造コストを削減してはどうか。資料内で市場価格となっているが具体的な金額を教えてください。

るか。また、袋の色分けは継続したほうが混乱が防げると思う。ごみの収集日の変更があるなら、なおさら一気に変えないほうがいい。

事務局 店舗によりセールなどで安くなることもあるので他市のごみ袋の価格について一概には言いづらいところがあります。湖西市ではごみ袋という形で皆様にごみ処理手数料を負担していただいているので、値段がどの店舗でも一律となっています。資料中で「市場価格」となっている市町は、家庭ごみの処理を有料化しておらず、ごみ袋が一般的な商品として流通しています。

委員 分別できていない違反ごみはどうしているか？

事務局 違反シールを貼り、すぐには回収しません。違反シールを見て違反者に回収してもらうことを期待しています。それでも回収されないようであれば後日市で回収しています。

委員 45L ごみ袋を導入したとして、売れないごみ袋が出てくるのが想定されるので、可燃ごみの袋を1種類にする方がいいと思う。また、袋の強度の話だが、以前使用していた新居町のごみ袋はなかなか破れなかったが、製造単価は高いのか。厚手のものを用意してほしい。

事務局 現在製造しているごみ袋は低密度ポリエチレン製であり、よく伸びて裂けづらい特徴があります。旧新居町のごみ袋は高密度ポリエチレン製で、丈夫ですが縦裂けが起きやすい特徴があり一長一短です。

委員 昔のごみ袋はそんなことなかったように感じる。

事務局 湖西市は単身者も多く、小さいサイズにも需要がある話も聞いています。今後のごみの出し方に即した仕様を研究していきたいと思います。

委員長 今日の段階でのごみ袋について意見を出していただいたということで、事務局は今後の検討の参考にしてください。

本日の議事は以上といたします。ご協力ありがとうございました。

6. その他

事務局 (1) 次回開催予定について

1/19（火）14時～ 場所は湖西市環境センターにて開催。

(2) 事務局からの連絡事項

今日の会議内容に関して質問等があれば、12月4日（金）までメールかファックスで受け付ける。

7. 閉会